

議事録

第 22 回日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会

【日時】 2021 年 2 月 18 日（木） 20：00-21：30

【場所】 zoom にてオンライン開催

【議長】 皆上大吾

【書記】 林光児 五十嵐宏之

【出席者（敬称略、順不同）】 皆上、秋吉、浅野、五十嵐、石田、伊藤（哲）、井上、今井、鈴木、牛尾、遠藤、小山田、児玉（和）、児玉（恵）、佐藤（敏）、杉山、高梨、武田、武信、長田、林、古川、保坂、堀、前川、水上、水野、三宅、村上、山本、林宝、伊藤（秀）、橋本、佐々木、田川、高木、中川、田戸 計 38 名

報告事項に先立ち、2019 年度試験にて獣医腫瘍科認定医 I 種に認定された 3 名（池田雄太 先生、中川正徳 先生、田戸雅樹 先生）が新認定委員として推挙され、承認された。担当部署については後日決定することとし、人員補充の必要な部署の担当者は杉山先生に報告することとなった。

1. 報告事項

- 1) コロナ禍における 2020 年認定委員会経過及び認定医講習会実施報告
 - 皆上委員長より新型コロナウイルス感染拡大に伴う認定委員会の対応について経緯説明があった。（資料 1）
- 2) 獣医腫瘍科 II 種試験報告（古川）
 - 2019 年度認定試験報告 以前承認済み
 - 受験者 286 名受験 28 名合格（合格率 9.7%）メール会議で審議、承認済
 - 2021 年度試験の準備状況
 - 中止された 2020 年度試験問題がほぼ完成していたので、残る過程は認定委員長の確認、地雷問題設定のみであることが報告された。
 - 2020 年度試験の中止により受験者数増加とそれに伴う会場キャパシティー及びコロナ対策の問題が懸念される。
 - 上記懸念事項に関しては、2021 年 1 月の大学共通テストが例年通りの会場定員で実施され、感染拡大に繋がらなかったことが先例として挙げられた。マスク着用、私語を慎むことを厳守すれば、来年度試験は開催可能と考えていることが皆上委員長から提言された。
- 3) 獣医腫瘍科 I 種 1 次試験報告（堀）
 - 2019 年度認定試験報告 以前承認済み
 - 資料 2 参照
 - 2021 年度試験の準備状況
 - 試験問題の準備については、追加の問題作成が必要であるが例年より進行している状況である。

4) 獣医腫瘍科 I 種 2 次試験 (武田)

- 2019 年度認定試験報告 以前承認済み
 - 資料 3 参照
- 2021 年度試験の準備状況
 - 試験問題の準備については、例年の 8 月頃のレベルで早めに進行している

2. 審議事項

1) 次回認定医講習会の開催形式について

- 3 月の理事会で最終決定となるため推測であるが、次回 2021 年 7 月の認定医講習会についてもオンライン開催の可能性が高い。(杉山)
- コロナ禍収束後もオンラインにも対応した形式で認定医講習会を検討すべきであることが石田会長から提言された。
- 対面とオンラインを併用した開催形式については今後委員会にて検討することが承認された。

2) 2021 年度認定医試験の試験形式について

- 審議に先立ち、会場予約の状況が報告された (杉山)
 - 2021 年 10 月 10 日、ベルサール新宿グランドを通常よりも広く会場を確保し密を避けるように手配している。
 - II 種試験はテーブル 1 つ 1 人がけで 200 数十名対応可能であるが、受験者数が多い場合、今までの 1 テーブル 2 名の形式であれば 400 名以上対応可能である。
 - I 種 1 次試験会場は 2 部屋確保しており、コロナ対策は十分である。
 - I 種 2 次試験会場は同様であるが、待機会場を例年より広く確保している。
- 1 種 2 次試験問題の形式について
 - 面接形式ではない方法で行うことはできないか (佐々木)
→ 試験問題形式については総合評価 (人格、話し方などを含めた) のため、現状の面接形式を維持すべきことが石田会長より提言された。
- 受験者数増加時の受験者数の制限について
 - 2 種、1 種 1 次については会場の準備状況から、例年よりも受験者数の増加があっても対応可能である。
 - 1 種 2 次については様々な条件を考慮して現在の方法では受験者数 24 名が限界である (杉山、武田)
→ 今年については 24 名に制限。越えた場合は抽選などの方法を検討。
- 来年以降の受験者数増加時の対応案
 - 試験官人員を倍にして、2 会場同時並行で行えるようにする?
 - 試験官については学識経験者の増員、試験になれた認定医が担当などで対応?
 - 面接試験前にセレクションをかけ、面接試験に進める人数を制限する?

- 前半と後半の受験生完全入れ替え方式とし、受験生の待機時間が短くするようになる？
 - 来年以降の対応方法については今後検討
 - どのような形式にするにしても学識経験者の増員が必須なので学識経験者の推薦があれば皆上委員長に進言する。
- 3) コロナ禍の認定医更新条件期間の延長希望について（林）
- コロナ禍の影響で各大学の図書館や附属病院施設への出入りができず、論文作成に支障をきたすため、1年間の期間延長を希望する。
 - 上記審議事項については賛成多数により承認され、I種更新条件の論文提出期限延長は、必要な方に特例で認め1年間猶予とする。ただし、認定医の有効期限を1年延長するという意味ではないことに注意が必要。（皆上）
- 4) 推薦図書追加について（杉山）
- 「VETERINARY ONCOLOGY」「犬の診療指針」「猫の診療指針」「小動物の診療指針」を推薦図書として提案。
 - 推薦図書の位置付けなどがはっきりしないため、その条件を確認する。今回は
ペンディング。次回に再検討。

以上

資料 1

認定委員会に関わる COVID-19 感染拡大への対応まとめ

年月日	対応
2020年2月28日	理事会にて WVCC と第 22 回学会中止が正式決定
2020年3月11日	第 22 回学会の中止を受け、認定医更新条件として出席の取り扱いを決めるためメール会議を実施。審議により中止された第 22 回学会については全員出席扱いとすることになった。
2020年5月21日	理事会にて第 22 回学会（8 月開催）の online 開催が決定
2020年5月26日	第 22 回学会中止により年 2 回の認定医講習会が開催できなくなるため、委員長判断により臨時認定医講習会を online で開催することを決定
2020年6月29日	Vetpeer の協力により臨時認定医講習会を online 開催。講習会の参加印に関しては受講証明書を発行し対応した。
2020年8月3日	認定委員会各セクションの責任者と相談の上、最終的に 2020 年度認定医試験中止を決定。理事会に報告し承認された。会場キャンセル料約 130 万円。
2020年8月6日	会員に認定医試験中止を告知（HP およびメール）
2020年8月22日	第 22 回学会および認定医講習会を online 開催
2020年9月14日	理事会にて第 23 回学会（1 月開催）の online 開催が決定
2020年12月11日	2021 年度認定医試験の開催可否についてメール会議を実施。審議の結果、有効投票数 42 票、賛成 29 票、反対 13 票で現時点では開催の方向として会場予約を進めることを決定。
2021年1月26日	第 23 回学会および認定医講習会を online 開催

認定医講習会開催記録

開催日時	2020年6/29-7/6	2020年8/22-8/23	2021年1/26-2/16
場所	Online (Vetpeer)	Online (Vetpeer)	Online (Vetpeer)
	臨時認定医講習会	認定医講習会（夏）	認定医講習会（冬）
参加人数	546名：受講証明 427名	880名：受講証明 273名	1050名（300名程度?）
A-1 臨床病理学	皆上大吾	石田卓夫	皆上大吾
A-2 診断学総論	保坂創史	杉山大樹	田戸雅樹
A-3 治療学総論	杉山大樹	田川道人	石垣久美子
A-4 外科療法	細谷謙次	林光児	中川貴之
B-1 細胞診断学	小笠原聖悟	皆上大吾	小笠原聖悟
B-2 画像診断学	戸島篤史	中山智宏	坂大智洋
B-3 化学療法	小林哲也	佐々木悠	田川道人

B - 4 放射線療法	藤田道郎	出口辰弥	細谷謙次
-------------	------	------	------

資料 2

1 種 1 次試験報告 (堀先生)

1.

第 10 回 1 種 1 次試験結果 実施日:2019 年 10 月 14 日(月) 実施場所:ベルサーレ新宿グランド

出願者数:41 名

受験者数:35 名

欠席者:6 名

合格者:7 名

合格率:20%

試験:診断学記述 3 問 各 100 点満点 合計 300 点 治療学記述 3 問 各 100 点満点 合計 300 点 合格基準:各問題平均点以上 地雷問題 2 題で落第

2.

2020 年度 第 12 回 1 種 1 次試験 新型コロナウイルス感染禍のため中止

3.

2021 年度 第 12 回 1 種 1 次試験 開催予定

資料 3

報告事項 1種2次担当（武田先生）

第11回（2019年度）認定医1種2次試験

試験概略

実施日： 2019年10月14日（月・祝）

会場： ベルサール新宿グランド

面接官： 皆上、小山田、藤田、武田、高木、杉山、細谷、林宝（試験室順）

出願者数：22名（前年度20名）

受験者数：22名（同20名）

欠席者数：0名

最高得点：281.50点（400点満点）

最低得点：178.50点（400点満点）

平均得点：227.23点（400点満点）

標準偏差：26.60点

平均+1標準偏差：253.82点

平均+1/2標準偏差：240.53点

合否審議

例年通りの平均点+1標準偏差を基準とし、実際に面接に当たった面接官8名で厳正に審議した結果NGワードもクリアしている成績上位3名を合格とした。後の認定委員会にて審議され承認された。

合格率：3/22名、13.63%（前年度3/20名、15.00%）

その他

合格者3名より認定医1種の登録申請があり受理。認定証送付等、すべての手続きは終了済み。

第12回（2020年度）認定医1種2次試験

新型コロナウイルス感染症禍のため中止。

第12回（2021年度）認定医1種2次試験（予定）

試験概略

実施日： 2021年10月10日（日）

会場： ベルサール新宿グランド

面接官： 未決定

受験資格

[5]を加えた受験資格を本年度より施行。

[1]日本獣医がん学会会員（正・準）である者

[2]獣医師免許を有する者

[3]日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医2種資格を有する者（有効期限内）

[4]日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医1種1次試験に合格した者

[5] 1種1次試験合格後5年以内の者（注：参照）

注：

1種2次試験受験資格には、1種1次試験合格後5年間の有効期限が設けられることが2018年7月総会にて決定済み（例：2021年度の1種1次試験合格者は2026年度の1種2次試験までが受験可能）。

ただし、2019年度までの1種1次試験合格者は、2021年度から5年後の2026年まで1種2次試験の受験を可能とする。

新型コロナウイルス感染症感染予防対策について

現在、会場係と連携して対策案のたたき台を策定中

リモート口頭試問案

試験内容漏洩の危険性のため困難？

4題4試験室→2題4試験室に縮小案

受験生1名につき2題とし受験時間および待機時間短縮を図る

同じ1題につき異なる2試験室で同時に試験。

それでも受験生の待機時間は長い

その対策としては広い部屋を用意し換気を徹底するしかない

認定医1種更新条件の論文投稿義務の申請について

認定医の有効期限管理においては自己管理となったことに準じて投稿した論文の申請も認定医主体で行うことへ変更。

がん学会ホームページの申請フォームより申請

投稿した論文が認定医1種更新条件をクリアするか1種2次担当が判断

結果を認定医に連絡、同時に事務局で把握

その結果は認定証カード更新時に事務局に照会される

更新を迎える認定医1種に対し申請したかどうかの連絡は適宜入れることとする